

## 育ての親は飼育係員 海遊館で、オウサマペンギンの赤ちゃんが生まれました！ 可愛い姿をご覧くださいませ

大阪市港区の海遊館では、平成 21 年 12 月 14 日（月）にオウサマペンギンの赤ちゃん 1 羽が生まれました。この赤ちゃんは飼育係員が人工で孵化させて育てており、その様子を 12 月 25 日（金）から平成 22 年 1 月末頃までの約 1 ヶ月間、館内 7 階の特設水槽内で特別公開します。海遊館でオウサマペンギンを人工飼育するのは 11 例目です。また、オウサマペンギンの赤ちゃん誕生は、今年 3 例目となります。

このオウサマペンギンの赤ちゃんは、海遊館で展示中のオウサマペンギンが 10 月 20 日（火）に産んだ卵から生まれました。通常、オウサマペンギンは、両親が交代で卵を足の上に乗せ、その上からおなかの皮をかぶせて卵を温めますが、この赤ちゃんの母親が上手に抱卵<sup>※1</sup>の交代ができず、飼育係員がバックヤードの孵卵器<sup>ふらんき</sup>で大切に育てました。12 月 12 日（土）に嘴打ち<sup>はしうち</sup><sup>※2</sup>を確認、12 月 14 日（月）の午前 8 時ごろに、無事卵からヒナが誕生しているのを確認しました。現在、温度や湿度が調整できる保育器に赤ちゃんを入れ、魚のすり身などの餌を与えるなど引き続き人工飼育を行っています。赤ちゃんは元気にすくすくと成長していることから、来館者に可愛らしい姿をご覧くださいませにしました。



12 月 14 日に生まれたオウサマペンギンの赤ちゃん（生後 1 日目）

海遊館でオウサマペンギンの赤ちゃんが誕生したのは、平成 21 年 8 月に続いて通算で 33 例目です。

※1 抱卵：卵を抱くこと      ※2 嘴打ち<sup>はしうち</sup>：ヒナが卵の内側から卵の殻に穴をあけること

### 1. 【今回の繁殖について】

産卵日 平成 21 年 10 月 20 日（火）  
※卵の長径 108mm、短径 76mm、重量 328g  
嘴打ち日 12 月 12 日（土）  
孵化日 12 月 14 日（月） ※産卵後 55 日目  
生まれたときの体重 222.8g



### 2. 【特別公開、人工飼育の様子】

公開場所 海遊館内 7 階「南極大陸」水槽前 特設水槽  
公開期間 平成 21 年 12 月 25 日（月）から平成 22 年 1 月末頃までの約 1 ヶ月間  
※展示期間は、生き物などの状況により変更する場合があります。  
現在の大きさ 全長約 15 cm、体重 327g（12 月 22 日現在）  
赤ちゃんの近況

現在、温度や湿度が調整できる保育器に赤ちゃんを入れ、魚のすり身などの餌を与えるなどの人工飼育を行っています。赤ちゃんは、一日に 5 回（22 日時点）の餌もよく食べ、飼育係員が近づくと元気に鳴き声を上げています。

### 3. 【オウサマペンギンについて】

オウサマペンギン 英名 King penguin 学名 *Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる 18 種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで 2 番目に大きく、成長すると全長約 90cm になる。南極大陸周辺の海岸、島に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは 1 回の産卵で 1 個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置きダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。一般的にオウサマペンギンの赤ちゃんは個体差があるものの、孵化したての時は全長約 10 cm、体重約 250g、1 ヶ月で体重約 2 kg、2 ヶ月で体重約 7 kg と、どんどん成長する。生まれてからおよそ 6 ヶ月後には、全長約 90 cm、体重は約 12 kg と、親とほぼ同じ大きさになる。赤ちゃんの全身には綿羽<sup>めんう</sup>と呼ばれる茶色いモコモコの羽が生え、生後 8 ヶ月頃になると、茶色い綿羽が抜け落ちて、親と同じ模様になり、自分で餌を食べ始める。

### （予告）【「オニさんダイバー」の開催について】

期 間 平成 22 年 1 月 16 日（土）～2 月 3 日（水）  
時 間 ①11：00～、②13：15～、③15：40～  
一日 3 回、①は約 40 分間、②・③は約 50 分間  
料 金 海遊館入館料に含む



オニさんダイバー

内 容 今回で6回目の開催となる節分の恒例イベントです。節分にちなんで、鬼に扮した「オニさんダイバー」が、海遊館の水槽に登場します。

※実施内容等の詳細については、追って発表させていただきます。

(添付写真) 12月14日に生まれたオウサマペンギンのヒナ(いずれも生後5日目)

